令和7年度 第3回 中部地方整備局事業評価監視委員会 報告案件一覧

■再評価

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変 化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト縮減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 <mark>下段:現時点</mark>	流域委員会等 の審議結果
	鈴鹿川直轄河川改修 事業	三重県四日市市、鈴 鹿市、亀山市	平成29年度 ~令和27年度	約471億円 約644億円	四日市市には石油化学コンビナートが、鈴鹿市には自動車製造工場、	<尹未の進捗学は、尹未負へ一人で約28%住長と	鈴鹿川第1・第2頭首工は、著しく治水上の支障となっており、改築の必要がある。 改築にあたっては、関係機関と連携・調整を図りながら事業を実施する。	【コスト縮減】 河道掘削の建設発生土を国や地 方自治体の公共事業と連携して有 効活用することで、残土処分場への 運搬・処分費を縮減する等、積極的 なコスト縮減に努める。 【代替案立案】 河川を推合経済状況、自然環境の 状況、河道状況を踏まえて策定した ものであり河川整備計画における ものであり河川整備計画における 可川改修が最も適切であると考えま す。	総費用C:402億円 B/C=69.9 【事業全体】 総便益B:36,786 億円	継続
	大井川直轄河川改修 事業	静岡県静岡市、島田 市、藤枝市、焼津市、 吉田町	平成24年度 ~令和22年度	約152億円 約182億円	流域内市町の人口は減少傾向となっており、世帯数は増加傾向となっている。 流域は、製薬、化学、食品加工業の工場が多く立地し、東名高速道路やJR東海道新幹線等、日本経済の基盤をなす重要交通網が集中しており、平成24年度には、一層の経済活動等が見込まれている。	大井川では、基準地点の神座で年超過確率1/50に相当する流量を安全に流下させるため、河道拡幅、低水護岸整備を重点的に進めており、河川整備計画に基づく事業の進捗率は事業費ベースで92%程度となっています。	大井川では、流下能力が不足する 箇所の河道掘削について、関係者 と十分な連携・調整を図りながら実 施をしていきます。	R6に実施を試みた堤防除草を有料処分からの地元農家へ運搬し有効活用を図ることを今後も行い、コスト縮減に努めます。 【代替案立案】 河川整備計画は、現在の流域に	【事業全体】 総便益B:3,031億 円 総費用C:196億円 B/C=15.4 【事業全体】 総便益B:4,058億 円 総費用C:218億円 B/C=18.6 【残事業】 総便益B:2,374億 円 総費用C:32億円 B/C=74.8 【残事業】 総便益B:2,787億 円 総費用C:23億円 円 とで=119.6	継続